

本部 緊急申し入れ 新型インフルエンザ対策で

東海労本部は、新型インフルエンザの国内感染が確認され、かつ急激に拡大していることから、J R 東海として早急に具体的対策を取るよう本日、緊急申し入れをしました。

申し入れに対して会社は、「状況が早く動いているので、対策はその都度検討している状況。マスクなどは既に配布している。今後も対策は検討していく」と回答しました。

これよりも先の5月1日に開かれた経営協議会でも、東海労は新型インフルエンザ対策等、当面する幾つかの課題について会社の考え方を明らかにするよう求めました。その時会社は、新型インフルエンザに対して「国、自治体のガイドラインに沿って対応していく。予想される事態に備えて手袋、マスクを配布する」と回答していました。

しかし東海労は、感染が急激に拡大している現状のなかで「国や自治体のガイドラインに沿って…」や手袋とマスクの配布に止まることなく、特に駅・ホームや車内業務を想定したマスク着用等の対策を早急に取りよう求めます。

他の交通機関をみならえ

職場の掲示では、手袋には一切触れていませんが、多分配布済みの物を使用する、ということでしょうか？ それにしても気になるのがマスク使用です。曰く「医療関係者から助言があったときに使用」です。しかし、助言「後」ではすでに感染してしまっているという可能性があり大変危険です。

J R 西日本は駅、乗務員のマスク着用を素早く実施しています。それより先、J A L と A N A は地上係員と乗員がマスクを着用しています。また、他の私鉄、バス等一部交通機関でもすでに乗務員がマスクを着用しています。

特に新幹線は多くの乗客に接し、また帰国、来日の乗客が多く乗車しています。見た目よりも安全優先を求めます。

**助言「後」の着用やうがい、手洗いでなく
駅・ホーム上と車内でのマスク着用は必要です**